

『STREAM工法』とその関連技術の開発』が
第24回（令和7年度）中部科学技術センター顕彰「振興賞」を受賞

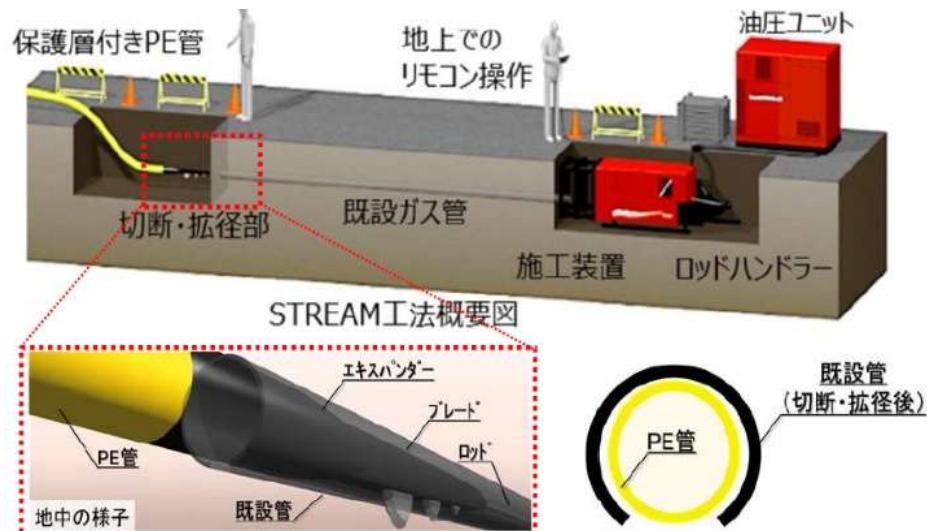
東邦ガスネットワーク株式会社（社長：柴田 喜充）は、公益財団法人中部科学技術センターが主催する第24回（令和7年度）中部科学技術センター顕彰において、『ガス用ダクタイル鋳鉄管を対象とした非開削入替工法「STREAM工法^{*1}」とその関連技術^{*2}の開発』が、株式会社クボタケミックス（社長：高山 純）と共同で「振興賞」を受賞しました。

STREAM工法は、既設ダクタイル鋳鉄管を対象に、同口径のポリエチレン管を非開削で入れ替える国内初の工法です。経年ガス導管の効率的な更新を実現した点、将来的な他ライフラインへの応用も期待できる点などが評価され、本受賞に至りました。

当社は引き続き、非開削工法の開発等、効率的かつ環境に優しいインフラ維持管理技術を高め、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

※1 STREAM工法および保護層付きポリエチレン管：<https://www.tohogas.co.jp/nw/technologies/open-cut-07/>

※2 ウィンドウカッター：<https://www.tohogas.co.jp/nw/technologies/open-cut-08/>



〈STREAM工法概要図〉



〈表彰式の様子〉

以上